

実践2027 正誤表

巻	書籍頁	アプリ	項目	誤	正	訂正日	参考: 2026	
							書籍頁	アプリ
1.必修	—	訂正あり	107C12 a肢解説	× a: 咬合平面板は咬合採得時の最初に仮想咬合平面を決定するため使用する。すでに使用を終えている。	× a: 咬合平面板は、咬合平面を基準として上顎模型を平均値咬合器に装着する際に用いる器具である。ラボサイドで使用するものであり、顎間関係記録後の外来では使用しない。	2026/5/14	—	訂正あり
	379	訂正あり	109A14 d肢解説	O d: occlusal plane guideは咬合平面板のことである。	O d: occlusal plane guideは咬合平面設定板のことである。	2026/5/28	375	訂正あり
7.全部床義歯学 部分床義歯学	57	—	109A69 ここ大事	①仮想咬合平面の決定: 咬合平面板、切出刀、ろう堤形成板、パラフィンワックス	①仮想咬合平面の決定: 咬合平面設定板、切出刀、ろう堤形成板、パラフィンワックス	2026/5/14	54	—
8.冠橋義歯学 インプラント	28	—	109C130 問題文	解答: ①、② ※①②にはそれぞれ0～9のいずれかが入る。	解答: ①② ※①には0か1、②には0～9のいずれかが入る。	2026/6/30	28	—
10.歯科矯正学	358	訂正あり	110D3 e肢解説	また、下顎前歯はやや下側傾斜しているため、少し唇側傾斜させることと前歯のストリップングによりスペースが獲得できるため、叢生も改善される。	また、下顎前歯はやや舌側傾斜しているため、少し唇側傾斜させることと前歯のストリップングによりスペースが獲得できるため、叢生も改善される。	2026/5/19	361	訂正あり

—: 訂正内容該当なし (該当の記述なし、または修正済みなど)